

かいとう かいとうようし きにゆう かなら ていしゆつ
解答は、すべて解答用紙に記入して必ず提出してください。

だい かい ぼ き の う り よ く けん て い し けん
第219回簿記能力検定試験

もんだいようし
問題用紙

きゆう しょうぎよう ぼ き
3 級 商業簿記

れい わ し こう
(令和7年7月13日施行)

もんだいようし けいさんようし ふくむ かいしゅう も かえ げんきん
問題用紙(計算用紙含)は回収します。持ち帰り厳禁です。

ちゆう い
注 意

- 試験開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
 - この試験の制限時間は1時間30分です。
 - 解答は、問題の指示にしたがい、すべて解答用紙の指定の位置に記入してください。
 - 解答用紙の会場コードは、試験担当者が指示した6桁の数字を頭の0(ゼロ)を含めてすべて書いてください。
 - 受験番号1番の場合、右寄せで1とだけ書いてください。
 - 受験番号90001番の場合、90001と書いてください。
 - 受験番号を記入していない場合や、氏名を記入した場合には、採点の対象とならない場合があります。
 - 印刷の汚れや乱丁、筆記用具の不具合などで必要のある場合は、手をあげて試験担当者に合図をしてください。
 - 机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆、黒シャープペン、消しゴム、定規、計算用具だけです。
 - 黒鉛筆または黒シャープペン以外で書いてあるものは不正解とします。
 - ボールペンを使用してはいけません。
 - 下敷きは、机の不良などで特に許されたもの以外は使用してはいけません。
 - 計算用具(そろばん・計算機能のみの電卓など)を使用してもかまいません。
 - 解答用紙は、持ち帰りできませんので白紙の場合でも必ず提出してください。
 - 解答用紙を持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
 - 簿記上本来赤で記入する箇所も黒で記入すること。
 - 解答は、必ず解答用紙に記入してください。
 - 金額には3位ごとのカンマ「,」を記入すること。
- ただし、位取りのけいせんのある解答用紙にカンマ、上付きカンマ(′)で解答しているものは不正解とします。
- また、カンマ「,」(数字の下側に左向き)と小数点「.」は明確に区別できるようにすること。

しゅ さい こう えきしゃだんほうじん ぜんこくけいりきょういкуようかい
主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
もん ぶ ぶん ぶ かく しょう
後 援 文 部 科 学 省
に ほん ぼ 記 学 会
日 本 簿 記 学 会

第219回簿記能力検定試験問題

3級 商業簿記

かいとう かいとうようし
解答は解答用紙に

第1問 次の取引を仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。なお、特に指示がない限り、消費税の会計処理は考慮しなくてよい。(28点)

げん	きん	とう	ざ	よ	きん	ふ	つう	よ	きん	うり	かけ	きん
現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	売	掛	金
まえ	ばい	ゆう	か	しょう	けん	しょう		ひん		かり	ばい	しょう
前	払	有	価	証	券	商		品		仮	払	消費
み	しゅう	たて		もの		と		ち		かい	かけ	きん
未	収	建		物		土		地		買	掛	金
まえ	うけ	み	ばい	きん		み	ばい	ぜい	きん	じゅう	ぎょう	いん
前	受	未	払	金		未	払	税	金	従業員	預	り
かり	うけ	あずか		きん		し	ほん	きん		くりこ	しり	えきじょう
仮	受	預	り	金		資	本	金		繰越	利益	剰余
ゆう	か	うり	あげ	げん	か	りょ		ひ		そ	ぜい	こう
有	価	売	上	原	価	旅		費		租	税	公
かしだ	おれ	ゆう	か	しょう	げん	かし	だ	そん	しつ	そん		えき
貸	倒	有	価	証券	売却	貸	倒	損	失	損		益
げん	きん	かり	ばい	きん		かり	うけ	きん		かし	だ	おれ
現	金	仮	払	金		仮	受	金		貸	倒	引
過	不									当		金
足												

- 保有している長崎株式会社の株式500株（帳簿価額@ ¥1,000）を@ ¥1,500で全株売却し、代金は後日振り込まれることとなった。
- 金庫の現金を数えたところ、実際有高は¥77,130であった。なお、現金の帳簿残高は¥74,130であったので、不一致の原因を調査することとした。
- 熊本株式会社は、仕入先から商品¥275,000（うち消費税額¥25,000）を購入し、代金は掛けとした。ただし、当社は、商品売買取引に関して、販売のつど売上原価勘定に振り替える方法（売上原価対立法）で記帳している。なお、消費税を税抜方式で処理する。
- 従業員が出張から戻り、概算払いしていた出張費¥150,000を精算したところ、旅費は¥123,000との報告を受け、残額は現金で受け取った。
- 当期に生じた鹿児島株式会社に対する売掛金¥197,000が回収不能となり、全額貸倒れ処理した。
- 沖縄株式会社は、店舗の土地・建物に関する固定資産税¥240,000を当座預金口座から納付した。
- 日本株式会社の当期決算において、当期純損失が¥2,025,000と算定された。

第2問 次の①の場合の（ア）と（イ）、②の場合の（ウ）と（エ）にあてはまる金額を計算しなさい。なお①については、損益取引以外の取引により生じた純資産の変動はないものとする。(16点)

たん い えん
(単位：円)

	きしゅしさん 期首資産	きしゅふさい 期首負債	きまつじゆんしさん 期末純資産	そうしゅうえき 総収益	そうひよう 総費用	とうきじゆんりえき 当期純利益
①	(ア)	1,280,000	3,840,000	25,600,000	(イ)	770,000
②	きしゅしょうひんたなおろしだか 期首商品棚卸高	じゆんし いれだか 純仕入高	きまつしょうひんたなおろしだか 期末商品棚卸高	うりあげげんか 売上原価	じゆんうりあげだか 純売上高	うりあげそうりえき 売上総利益
	1,160,000	(ウ)	1,060,000	8,100,000	(エ)	3,900,000

第3問 次のような仕訳を行うことになる取引の内容として最も適切なものの記号を選びなさい。(12点)

1.

かり 借	かた 方	か 科	もく 目	きん 金	がく 額	かし 貸	かた 方	か 科	もく 目	きん 金	がく 額
かい 買	かけ 掛		きん 金		300,000	し 仕			いれ 入		300,000
たて 立	かえ 替		きん 金		50,000	げん 現			きん 金		50,000

- ア. A社から掛けで仕入れた商品¥300,000について、品違いであったため返品した。また、先方負担の運賃¥50,000を当座預金口座から振り込んだ。なお、商品の売買は三分法で処理している。
- イ. A社から商品¥300,000を掛けで仕入れた。また、先方負担の運賃¥50,000は現金で支払った。なお、商品の売買は三分法で処理している。
- ウ. A社から商品¥300,000を掛けで仕入れた。また、当方負担の運賃¥50,000は現金で支払った。なお、商品の売買は三分法で処理している。
- エ. A社から掛けで仕入れた商品¥300,000について、品違いであったため返品した。また、先方負担の運賃¥50,000を現金で支払った。なお、商品の売買は三分法で処理している。

2.

かり 借	かた 方	か 科	もく 目	きん 金	がく 額	かし 貸	かた 方	か 科	もく 目	きん 金	がく 額
かり 借		いれ 入	きん 金		10,000,000	げん 現			きん 金		10,500,000
し 支	はらい 払	り 利	そく 息		500,000						

- ア. 利息¥500,000を元金返済時に支払うことを条件としてB社より¥10,000,000を借り入れ、借用証書を渡して現金を受け取った。
- イ. 利息¥500,000を元金返済時に受け取ることを条件としてB社へ¥10,000,000を貸し付け、借用証書を受け取り現金を渡した。
- ウ. B社より借り入れた¥10,000,000について、利息¥500,000とともに現金で支払った。
- エ. B社より¥10,000,000を借り入れ、利息¥500,000を差し引いた残金を現金で受け取った。

3.

かり 借	かた 方	か 科	もく 目	きん 金	がく 額	かし 貸	かた 方	か 科	もく 目	きん 金	がく 額
きゆう 給			りよう 料		550,000	しょ 所	とく 得	ぜい 税	あずか 預り	きん 金	50,000
						げん 現			きん 金		500,000

- ア. C社は従業員への給料¥550,000を現金で支払った。
- イ. C社は従業員への給料¥550,000の支払いに際して、所得税の源泉徴収額¥50,000を差し引き、残額を現金で支払った。
- ウ. C社は従業員への給料¥550,000の支払いに際して、従業員が負担すべき社会保険料¥50,000も立て替えたうえで、現金で支払った。
- エ. C社は従業員への給料¥550,000の支払いに際して、かねて立替払いしていた従業員負担の生命保険料¥50,000を差し引き、残額を現金で支払った。

第4問 K商品の仕入と払出の記録にもとづいて、商品有高帳に記入しなさい。なお、商品の払出単価の決定は先入先出法によっており、商品有高帳は月末に締め切ること。また、K商品の売上原価を計算しなさい。(12点)

【K商品の仕入と払出の記録】

6月1日 前月繰越：K商品200個，@¥400
6日 香川株式会社よりK商品を600個，@¥500で仕入れ，代金は掛けとした。
12日 愛媛株式会社へK商品を300個，@¥700で売り渡し，代金は掛けとした。
18日 高知株式会社よりK商品を400個，@¥600で仕入れ，代金は掛けとした。
24日 徳島株式会社へK商品を800個，@¥900で売り渡し，代金は掛けとした。

第5問 決算にあたって修正すべき次の事項（決算整理事項）にもとづいて、大分株式会社（会計期間は令和6年4月1日～令和7年3月31日）の精算表を完成しなさい。(32点)

決算整理事項

- 現金過不足の残高は、広告費¥15,000の記帳漏れが原因であることが判明したため、適切に処理する。
- 期末商品棚卸高 ¥120,000
- 貸倒引当金 売掛金残高の4%の貸倒れを見積もる。差額補充法により処理する。
- 備品：減価償却 備品は当期首に¥770,000で購入し，直ちに使用に供したものである。
定額法により減価償却費の計算を行い，直接法により記帳している。
耐用年数は5年，残存価額はゼロと見積もられている。
- 給料の未払高 ¥40,000
- 家賃の前払高 ¥13,000

※氏名は記入しないこと。

【禁無断転載】

会場コード			
受験番号			

第219回簿記能力検定試験

3級 商 業 簿 記 解答用紙

得 点
点

制限時間
【1時間30分】

第1問採点

第1問 (28点)

	借 方		貸 方	
	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

第2問採点

第2問 (16点)

(ア)	期 首 資 産	¥
(イ)	総 費 用	¥
(ウ)	純 仕 入 高	¥
(エ)	純 売 上 高	¥

第3問 (12点)

1	2	3

第4問採点

第4問 (12点)

商 品 有 高 帳

K 商 品

(先入先出法)

[illegible]

売 上 原 価

¥

第5問採点

第5問 (32点)

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	240,000							
現 金 過 不 足	15,000							
当 座 預 金	290,000							
普 通 預 金	340,000							
売 掛 金	1,300,000							
貸 倒 引 当 金		32,000						
繰 越 商 品	116,000							
備 品	770,000							
土 地	2,400,000							
買 掛 金		180,000						
借 入 金		3,600,000						
資 本 金		1,200,000						
繰越利益剰余金		62,000						
売 上		4,800,000						
受 取 利 息		2,000						
仕 入	680,000							
給 料	3,031,000							
広 告 費	58,000							
交 通 費	48,000							
通 信 費	39,000							
消 耗 品 費	24,000							
支 払 家 賃	480,000							
水 道 光 熱 費	44,000							
支 払 利 息	1,000							
	9,876,000	9,876,000						
貸倒引当金繰入								
減 価 償 却 費								
未 払 給 料								
前 払 家 賃								
当 期 純 利 益								

※氏名は記入しないこと。

全3ページ

①

【禁無断転載】

会場コード				
受験番号				

第219回簿記能力検定試験

3級 商業簿記 解答

得点
点

制限時間
【1時間30分】

第1問 (28点)

@ 4点 × 7 = 28点

	借 方		貸 方	
	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1	未 収 金	750,000	有 価 証 券 有 価 証 券 売 却 益	500,000 250,000
2	現 金	3,000	現 金 過 不 足	3,000
3	商 販 払 消 費 品 税	250,000 25,000	買 掛 金	275,000
4	旅 現 費 金	123,000 27,000	仮 払 金	150,000
5	貸 倒 損 失	197,000	売 掛 金	197,000
6	租 税 公 課	240,000	当 座 預 金	240,000
7	繰 越 利 益 剰 余 金	2,025,000	損 益	2,025,000

第2問 (16点)

@ 4点 × 4 = 16点

(ア)	期 首 資 産	¥	4,350,000
(イ)	総 費 用	¥	24,830,000
(ウ)	純 仕 入 高	¥	8,000,000
(エ)	純 売 上 高	¥	12,000,000

第3問 (12点)

@ 4点×3=12点

1	2	3
エ	ウ	イ

第4問 (12点)

●印@3点×4=12点

商 品 有 高 帳

K 商 品

(先入先出法)

令 7 年	和 年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
6	1	前月繰越	200	400	80,000				200	400	80,000
	6	仕 入	600	500	300,000				200	400	80,000
									600	500	300,000
	12	売 上				200	400	80,000			
						100	500	50,000	500	500	250,000
	18	仕 入	400	600	240,000				500	500	250,000
									400	600	240,000
	24	売 上				500	500	250,000			
						300	600	180,000	100	600	60,000
	30	次月繰越				100	600	60,000			
			1,200		620,000	1,200		620,000			
7	1	前月繰越	100	600	60,000				100	600	60,000

注 { がなければ誤答とする。

※次の記入も正解とする。

200	400	
600	500	380,000

500	500	
300	600	430,000

売 上 原 価	¥	560,000
---------	---	---------

第5問 (32点)

●印@4点×8=32点

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	240,000						240,000	
現 金 過 不 足	15,000			15,000				
当 座 預 金	290,000						290,000	
普 通 預 金	340,000						340,000	
売 掛 金	1,300,000						1,300,000	
貸 倒 引 当 金		32,000	●	20,000				52,000
繰 越 商 品	116,000		120,000	116,000			120,000	
備 品	770,000			154,000			●	616,000
土 地	2,400,000						2,400,000	
買 掛 金		180,000						180,000
借 入 金		3,600,000						3,600,000
資 本 金		1,200,000						1,200,000
繰越利益剰余金		62,000						62,000
売 上		4,800,000				4,800,000		
受 取 利 息		2,000				2,000		
仕 入	680,000		116,000	120,000	676,000	●		
給 料	3,031,000		40,000		3,071,000			
広 告 費	58,000	●	15,000		73,000			
交 通 費	48,000				48,000			
通 信 費	39,000				39,000			
消 耗 品 費	24,000				24,000			
支 払 家 賃	480,000			13,000	467,000	●		
水 道 光 熱 費	44,000				44,000			
支 払 利 息	1,000				1,000			
	9,876,000	9,876,000						
貸倒引当金繰入			20,000		20,000			
減 価 償 却 費			154,000		154,000			
未 払 給 料			●	40,000				40,000
前 払 家 賃		●	13,000				13,000	
当 期 純 利 益				●	185,000			185,000
			478,000	478,000	4,802,000	4,802,000	5,319,000	5,319,000